

# ◆英語運用能力について

学校	独自取組		外部検定試験							評価	
	主な取組	取組詳細	英語検定合格者(受験者)	TOEIC受験者(最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者(最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 iTP Level1：677点満点 iTP Level2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL合計人数(iBT iTP Junior, Complete Practice Test) (iBT, Complete Practice Test上位 30名平均)	その他	TOEFLに係る評価	英語検定		その他
北野	①英語による講演 ②1年間の留学生受け入れにより様々な交流会を実施 ③「学内留学講座」の実施 ④native教員による独自教材の作成と活用	⑤海外でのフィールドワークの実施(シアトル研修、台湾研修、デンマーク研修) ⑥即興型英語ディベート実践	裏面記載 1級1名 準1級10名 2級5名 (44名)	公開 5名 (最高860、平均753)	Junior 1名	1名	ELTS 1名	-	-	-	-
豊中	①ディベートチーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④ディベートセミナー	⑤大阪大学留学生交流 ⑥国内留学プログラム ⑦英国語学研修	裏面記載 1級1名 準1級19名 2級61名 準2級11名 (116名)				GTEC 2名 (最高802) TEAP 1名	-	-	-	-
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④長期留学生の受け入れ	⑤インドネシア学校交流 ⑥Beyond_i(シンガポール海外研修)	裏面記載 1級1名 準1級11名 2級6名 準2級1名 (47名)	公開 2名	iBT 3名(最高66、平均59)	3名 (最高66、平均59)	IELTS 3名 (最高6.5、平均6.3)	-	-	-	-
大手前	①英国交流 研究発表および生徒交流(全校) ②グローバルスタディーズプログラム(60名) ③オーストラリアGL研修(40人) 実施		裏面記載 準1級13名 2級30名 準2級1名					-	-	-	-
四條畷	①(第1学年)英語の校内暗唱コンテストの実施 ②(第2学年)英文エッセイの作成および外部コンテストへの応募 ③(希望者)オーストラリアの高校生とのオンライン交流 ④(希望者)台湾の高校生とのポストカードの交換	⑤(希望者)海外からの高校生の学校訪問時のスクールバディとしての活動	裏面記載 準1級5名				GTEC 708名 (最高1249、平均929.6)	-	-	-	-
高津	①実用英語技能検定2級の取得を促す ②海外オンライン交流会をはじめ、台湾サイエンスツアーやアジア高校生環境フォーラムへの参加者に対する英語でのディスカッション指導		裏面記載 準1級3名 2級39名 (94名)	公開 1名	iBT 1名	1名	IELTS 1名	-	-	-	-
天王寺	①ウクライナ(対面)とスウェーデン(オンライン)講師に迎え、前者はウクライナの現状・後者は女性のキャリアに関する講義を実施した。"Science English"はポスター発表形式で実施。1年生全員対象に、本校英語教員も含め、英語での取りを行った。 ②オーストラリアの本校姉妹校、フィンランドの提携校、大阪観光局を仲介してインドの高校生の訪問を受け入れた。オンライン交流(Chromebook 使用)は姉妹校と実施した。 ③台湾の姉妹校を令和6年3月4日～6日、同3月5日～7日の2班で訪問した。 ④希望者対象に5日間、50分×5コマの校内留学プログラムを実施した。外国人留学生とともに、参加生徒たちが自身の将来・目標を本気で考える機会であり、「答えのない社会」を生き抜く自己変革力を身に付けることを目標としている。 ⑤検定教科書に関連した独自教材をnative教員が準備し、1・2年生に授業を実施。現代事情をトピックとした独自教材をALTが作成し、日本人英語教員と共に、3年生文系クラスで授業を実施している。English cafeは毎週金曜日、希望者対象の取り組みである。 ⑥生徒の本校での英語力の伸長を図る目的で、入学時と2年生12月の2回実施している。2年時に900点満点のスコアを出した生徒は、ロンドン大学に合格している。	④"Road to GL(夏季休業中校内留学プログラム)"実施 ⑤native教員・ALT作成独自教材の利用・English Caféの定期実施 ⑥TOEFL Juniorの1・2年生全員受験	裏面記載 1級1名 準1級5名 2級5名 (29名)		Junior 667名(最高900、平均768) iBT 1名	668名		-	-	-	-
生野	①2年生全員の英検受験 ②SSH探究Ⅱ成果発表会で英語オーラル発表 ③校内留学(グローバルスタディプログラム)の実施 ④海外語学研修(オーストラリアスタディツアー) ⑤SSH海外研修(韓国) ⑥イングリッシュ・カフェ		裏面記載 1級1名 2級78名 (231名)					-	-	-	-
三国丘	①SGH事業の実施 ②4技能統合型授業の実施 ③海外の高校生との交流 ④海外研修の実施	⑤英語による課題研究発表	裏面記載 1級1名 準1級14名 2級39名 (76名)		iBT 2名(最高83)			-	-	-	-
岸和田	①英検 問題集貸出・添削指導・面接指導 ②English Café		裏面記載 準1級5名 2級46名 準2級4名 (106名)	公開 2名(最高580)			GTEC 1名	-	-	-	-

# 英語運用能力を育成する取組（参考）

学校	独自取組	
	主な取組	取組概要
北野	①英語による講演 ②1年間の留学生受け入れにより様々な交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④native 教員による独自教材の作成と活用 ⑤海外でのフィールドワークの実施（シアトル研修、台湾研修、デンマーク研修） ⑥即典型英語ディベート実践	ICTやChromebookを活用し、「発信型でアクティブな授業に変える」取組が充実している。民間教育機関を活用した「学内留学講座」を4回実施し、生徒たちは、ネイティブスピーカーの指導のもと、様々なトピックについて英語で思考、判断、表現、討議する機会をもった。以前にSETが作成した教本（5冊）を毎年改定、活用し、4技能を総合的に鍛える授業を行った。即典型英語ディベートも1年生全体で導入し、希望者が関西大会、全国大会へと進んだ。海外研修については、7月に台湾、3月にシアトル、デンマークでの研修を行った。
豊中	①ディベートチーム ②ディベート体験 ③英語リスニング講座 ④ディベートセミナー ⑤大阪大学留学生交流 ⑥国内留学プログラム ⑦英国語学研修	①1・2年生の希望者を対象に月・木の放課後、即典型ディベートの練習を行った。 ②1年生全員を対象に即典型英語ディベート体験を行った。 ③全学年の希望者を対象に土曜講習の中でリスニングを行った。 ④1・2年生の希望者を対象に英語ディベートセミナーを行った。 ⑤1年生全員を対象に大阪大学からの留学生と交流を行った。 ⑥1・2年生の希望者を対象に国内留学プログラムを行った。 ⑦1・2年生の40名が夏季休暇中に13日間の英国語学研修旅行に参加した。
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②大阪大学等留学生との交流 ③「イマージョンプログラム」の実施 ④長期留学生の受け入れ ⑤インドネシア学校交流 ⑥Beyond_i（シンガポール海外研修）	①2年「ディベートディスカッションⅡ」の授業にて、「日本政府はSNSを検閲すべきか」、「日本においてカジノは禁止されるべきか」、「死刑制度は廃止されるべきか」といった社会的なテーマについてディベートを実施。論理的思考力を育成する。 ②大阪大学等の留学生を本校に招き、ディスカッションや交流を行うB&Sプログラムを実施。1年生全員が参加 ③冬休み中2日間で開催される英語演劇プログラム。ネイティブスピーカーによって少人数での講義が展開される。最終的に1年生はグループプレゼンテーション、2年生はディベートを行う。1年生140人、2年生21人が参加。 ④令和5年4月～令和6年1月までアメリカ合衆国からの留学生1名を受け入れ。 ⑤インドネシアの高校から40名の生徒が来校し、本校生徒と交流をした。高校紹介や、お互いの文化の紹介を英語で行った。1年49人、2年22人が参加。 ⑥令和5年3月11日～16日に1年13人、2年10人がシンガポールを訪問し、現地の大学生と交流やディスカッションを行った。
大手前	①英国交流 研究発表および生徒交流（全校） ②グローバルスタディーズプログラム（60名） ③オーストラリアGL研修（40人） 実施	①英国提携校からの来日生徒、全校生での研究発表会開催。 本校希望者とのペア交流、大阪・京都・奈良の案内を通じた交流を実施。 ②外国人留学生とのオールイングリッシュでの探求型研修を実施。 ③メルボルンにて、ホームステイ、現地大学生との交流を実施。
四條畷	①（第1学年）英語の校内暗唱コンテストの実施 ②（第2学年）英文エッセイの作成および外部コンテストへの応募 ③（希望者）オーストラリアの高校生とのオンライン交流 ④（希望者）台湾の高校生とのポストカードの交換 ⑤（希望者）海外からの高校生の学校訪問時のスクールパティとしての活動	英語の校内暗唱コンテスト：1年生全員について、まとまった量のスピーチを暗記し、クラス予選を経て全体でのコンテストを実施 英文エッセイの作成および外部コンテストへの応募：2年生全員が夏期の課題として5パラグラフ程度の英文のエッセイを作成し、リライトを経て優れた作品については校外のコンテストに応募する 希望者： オーストラリアの高校生とのオンライン交流を、お互いの学校生活や文化をトピックにして昼休みに実施した 台湾の高校生と年賀状など交換し、お互いの文化についての理解を深めた オーストラリアおよび台湾の高校生が本校を数日間に渡って訪問した際、歓迎会や放課後のクラブ体験、昼食会や文化祭の案内などを、スクールパティとして企画、運営に携わった
高津	①実用英語技能検定2級の取得を促す ②海外オンライン交流会をはじめ、台湾サイエンスツアーやアジア高校生環境フォーラムへの参加者に対する英語でのディスカッション指導	・英検第2回において1次試験の準会場として積極的に受験を促した。 ・海外オンライン交流会、台湾サイエンスツアー、アジア高校生環境フォーラムにおいて、英語で海外の高校生とコミュニケーションやディスカッションを行った。また、そのための事前学習を各数回行った。
天王寺	①英語での外部講師による講演と大阪大学留学生を審査員として迎えた1年生対象“Science English”の実施（SSH事業の一環） ②姉妹校・連携校との交流（本校への訪問受け入れ 3校・オンライン交流 2回） ③台湾姉妹校訪問 2件 ④“Road to GL（夏季休業中校内留学プログラム）”実施 ⑤native 教員・ALT作成独自教材の利用・English Caféの定期実施 ⑥TOEFL Junior の1・2年生全員受験	①ウクライナ人（対面）とスウェーデン人（オンライン）講師を迎え、前者はウクライナの現状・後者は女性のキャリアに関する講義を実施した。“Science English”はポスター発表形式で実施。1年生全員対象に、本校英語教員も含め、英語でやり取りを行った。 ②オーストラリアの本校姉妹校、フィンランドの提携校、大阪観光局を仲介してインドの高校生との訪問を受け入れた。オンライン交流（Chromebook 使用）は姉妹校と実施した。 ③台湾の姉妹校を令和6年3月4日～6日、同3月5日～7日の2班で訪問した。 ④希望者対象に5日間、50分×5コマの校内留学プログラムを実施した。外国人留学生とともに、参加生徒たちが自身の将来・目標を本気で考える機会であり、「答えのない社会」を生き抜く自己変革力を身に付けることを目標としている。 ⑤検定教科書に関連した独自教材をnative 教員が準備し、1・2年生に授業を実施。現代事情をトピックとした独自教材をALTが作成し、日本人英語教員と共に、3年生文系クラスで授業を実施している。English cafeは毎週金曜日、希望者対象の取り組みである。 ⑥生徒の本校での英語力の伸長を図る目的で、入学時と2年生12月の2回実施している。2年時に900点満点のスコアを出した生徒は、ロンドン大学に合格している。
生野	①2年生全員の英検受験 ②SSH探究Ⅱ成果発表会で英語オーラル発表 ③校内留学（グローバルスタディプログラム）の実施 ④海外語学研修（オーストラリアスタディツアー） ⑤SSH海外研修（韓国） ⑥イングリッシュ・カフェ	①2年修了時に英検2級取得者5割を目標とする。 ②広く発信するという観点から英語での発表を推奨している。 ③日本国内の大学に留学中の外国人との交流（英語漬けの5日間） ④オーストラリアでのホームステイと現地高校との交流（7泊8日） ⑤韓国の科学館等の見学、泳業高校との交流（3泊4日） ⑥昼休みを利用したネイティブ教員、NET、英語教員との英会話（基本毎日）
三国丘	①SGH事業の実施 ②4技能統合型授業の実施 ③海外の高校生との交流 ④海外研修の実施 ⑤英語による課題研究発表	①フィリピンの大学によるリーダーシップ研修を実施 ②1、2年生全員に4技能統合型の授業を実施 ③韓国、台湾、オーストラリアの高校との国際交流実施 ④米国NASAツアー実施、オーストラリア海外研修実施 ⑤全国高校生フォーラムに参加。 フィリピンでプレゼンテーション実施。留学生交流会、校内の課題研究発表会にて発表。
岸和田	①英検 問題集貸し出し・添削指導・面接指導 ②English Café ③海外研修の実施	①英検受験者を対象に、問題集の貸し出し、添削指導、面接試験指導を行う。 ②ネイティブ講師による話す力強化のための講座。希望者対象に年16回実施。 ③1・2年生の希望者を対象に、オーストラリア海外研修を実施